



中 田 小	学 校 教 育 目 標 さわやか笑顔中田っ子 思い合い ひびきあい 共に生きる力を育てます。
平成28年8月29日	中田小ホームページ http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nakada/



一人旅

校長 蒲谷 猛

「椰子の実」

作曲：大中寅二
作詞：島崎藤村

名も知らぬ遠き島より
流れ寄る椰子の実一つ
故郷の岸を離れて
汝（なれ）はそも波に幾月

旧（もと）の木は
生（お）いや茂れる
枝はなお影をやなせる
我もまた渚を枕
孤身（ひとりみ）の
浮寝の旅ぞ

実をとりて胸にあつれば
新たなり流離の憂
海の日の沈むを見れば
激（たぎ）り落つ
異郷の涙

思いやる八重の汐々
いずれの日にか
故国（くに）に帰らん



「ピンクのトンボ、確認相次ぐ」という記事を8月中旬にネットニュースで見かけました。このトンボは『ベニトンボ』。ジョッキングピンクの体色をした南方系のトンボで、主に台湾以南の中国中南部や東南アジアなどに分布しているのですが、2000年以降になって、九州各県や高知・徳島でも見られるようになり、今夏はさらに北上して和歌山で目撃されたという内容でした。地球温暖化の一つの現れです。

今夏の横浜の最高気温は、8月9日の37.4℃。全国的にみると、8月17日に館林市で記録した39.6℃が今のところの最高です。今年もとても暑い夏休みでした。そんな暑い夏でしたが、子どもたちは学校を離れて、各家庭や地域でさまざまな豊かな体験がを積み重ねてきたのでしょうか。学校に戻ってきた表情がいきいきとしています。

私事ですが、今年の夏は、一人旅の機会が何回かありました。名古屋から乗った『快速みえ』は2両編成。最初はガラガラだった車内も、発車間際には、ほぼ満席になりました。私の隣の席に笑顔での会釈とともに座ったのは、外国の女性の方でした。首から鉄道の全国パスをかけ、地図を広げている様子から、一人旅をされているようだったので、伊勢につくまでしばらくお話をしました。

フランスから来た方で、パリに在住されていること、大学が終わって10月に就職するまでのこの時期に、日本中を旅すること、昨日成田に着き鎌倉を回って、今日は伊勢に行くこと、旅先を日本に決めたのは、宮崎駿監督の映画が大好きで、日本に興味があったからだということ、などなど。松阪牛はとてもおいしいよと、他市の名産を力説したら、ベジタリアンだそうで、思わず苦笑しました。

伊勢駅で下車する彼女を見送ってから、ふと、うちの子どもたちは一人旅ができるかなと考えてしまいました。人とかかわる力を伸ばすこと、コミュニケーション能力を高めることが今日的な教育課題の大きな一つになっています。人とのつながりを創り、結びつきを高める力や、人とかわり、つながる喜びを知ることが大切であることはもちろん間違いありません。でも、人とかわる喜びを知ることと、一人ではできないということは全然違うよな、といろいろと考えが巡りました。埼玉の悲惨な事件と考え合わせると、SNS、LINEなど、人とつながるツールが身近にある今の子どもたちにとって、「一人になれること」も大事な指導内容なのかも知れません。

前期のまとめ、後期のスタート、運動会をはじめとした行事など、密度の濃い時期がスタートしました。友だちとの絆を高め、協力する喜びを味わわせる機会を大切にす一方で、一人一人の成長をしっかりと促し、「一人になれる力」も伸ばしていくことができるように、子どもたちにかかわっていきたくて考えています。